

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
1／35	高1年 2名		ひとりだちするための 進路学習－あしたへのステップ－

年間目標		(知及技) 知識及び技能	職業について関心を持ち、将来の職業生活に係る基礎的な知識や技能を身に付けるようにする。 (中1段階)				
		(思判表力) 思考力、判断力、表現力等	将来の職業生活に必要な事柄に触れ、課題や解決策に気づき、実践し、学習したことを伝えるなど、課題を解決する力の基礎を養う。(中1段階)				
		(学・人) 学びに向かう力、人間性	将来の職業生活の実現に向けて、生活を工夫しようとする態度を養う。(中1段階)				
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
1 学期	4月	3	(知及技) 身近にある役割を知り、勤労の意識を知ることができる。 (思判表力) 自分への理解を深め、興味のある事柄を見つけることができる。 (学・人) 自分への理解を深め、家庭等での役割について考えようとしている。	(知・技) 身近にある役割を知り、勤労の意識を高めることができた。 (思・判・表) 自分への理解を深め、興味のある事柄を見つけようとする。 (主学) 自分への理解を深めることができ、家庭等での役割について考えようとする。	・自分を知ろう ・職業準備性ピラミッド	・自分や自分の家族について ・家庭での仕事や手伝いについて ・自分の夢について	国語、数学、社会、 体育、家庭
	5月	11	(知及技) 挨拶、身だしなみ、健康管理等、今後の進路に向けて必要なルールやマナーについて知ることができる。 (思判表力) 社会人として必要なマナーや健康管理等を理解することができる。 (学・人) 社会人として必要なマナーや健康管理等を理解し、自分ができているかを振り返ろうとしている。	(知・技) 挨拶、身だしなみ、健康管理等、今後の進路に向けて必要なルールやマナーについて知ることができる。 (思・判・表) 社会人として必要なマナーや健康管理等を理解することができる。 (主学) 社会人として必要なマナーや健康管理等を理解し、自分ができているかを振り返ることができる、今後に生かそうとする。	・働く上で必要な力を知ろう① ・かふやみ15の力について知ろう	・挨拶、報連相、返事について ・清潔、身だしなみについて ・健康管理 ・マナーについて	国語、数学、社会、 体育、家庭
	6月						
	7月						
2 学期	9月	3	(知及技) 身の回りにある様々な仕事について知ることができる。 (思判表力) 自分の生活の中から、どんな仕事があるかを考えることができる。 (学・人) 自分の生活と社会との繋がりを考えようとしている。	(知・技) 身の回りにある様々な仕事について知ることができる。 (思・判・表) 自分の生活の中から、どんな仕事があるかを考えることができる。 (主学) 自分の生活と社会との繋がりを考えることができる。	・社会や職業について	・色々な仕事について ・学校や家の周りの仕事 ・働く人の一日について	国語、数学、社会、 理科、英語、体育、 音楽、美術、家庭
	10月	11	(知及技) 進路決定までや進路先、実習等について知ることができる。 (思判表力) 学んだ知識を生かして挨拶等の実践を行うことができる。 (学・人) 自分の進路について、興味・関心をもって考えることができる。 (学・人) 卒業後の生活で必要な場所を具体的にイメージし、利用方法等を知ろうとしている。	(知・技) 進路決定までや進路先、実習等について知ることができる。 (思・判・表) 学んだ知識を生かして挨拶等の実践を行うことができた。 (主学) 自分の進路について、興味・関心をもって考えることができた。 (主学) 卒業後の生活で必要な場所を具体的にイメージし、利用方法等を知ることができた。	・進路について考えよう	・進路の決め方や進路先について ・進路学習ガイダンス ・実習について ・様々な職場について ・困ったときの相談先について	国語、数学、社会、 体育、家庭
	11月						
	12月						
3 学	1月	7	(知及技) 挨拶、身だしなみ、健康管理等、今後の進路に向けて必要なルールやマナーについて知り、実践することができる。 (思判表力) 社会人として必要なマナーや健康管理等を理解し、改善しようとすることができる。	(知・技) 挨拶、身だしなみ、健康管理等、今後の進路に向けて必要なルールやマナーについて知り、実践することができる。 (思・判・表) 社会人として必要なマナーや健康管理等を理解し、改善しようとする意識が芽生えた。	・働く上で必要な力を知ろう②	・一年間の振り返り ・かふやみ15の力をつけることができたか	国語、数学、社会、 理科、英語、体育、 音楽、美術、家庭

期	2月	(字・人) 社会人として必要なマナーや健康管理等を理解し、自分ができているかを振り返り、生活に生かそうとしている。	(字・人) 社会人として必要なマナーや健康管理等を理解し、自分ができているかを振り返り、生活に生かそうと自覚することができた。			
	3月					
留意点 引継等						
評価方法		・ 三観点の確認      ・ 授業（実技、実習を含む）に対する取組姿勢      ・ 課題の処理意欲、態度				

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
1／35	高2年 2名		ひとりだちするための 進路学習－あしたへのステップ－

年間目標		(知及技) 知識及び技能	働くことに対する関心を高め、将来の職業生活に係る基礎的な知識や技能を身に付けるようにする。(中2段階)				
		(思判表力) 思考力、判断力、表現力等	将来の職業生活に必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践し、学習したことを振り返り、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。(中2段階)				
		(学・人) 学びに向かう力、人間性	将来の職業生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。(中2段階)				
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
1 学期	4月	3	(知及技) 現場実習の内容や現場実習先について理解することができる。 (思判表力) 学んだ知識を生かして実習等で必要な挨拶等を実践することができる。 (学・人) 自分の希望する進路について、興味・関心をもって考えようとしている。	(知・技) 現場実習の内容や現場実習先について調べ、理解することができた。 (思・判・表) 学んだ知識を生かして実習等で必要な挨拶等を実践することができた。 (主学) 自分の希望する進路について、興味・関心をもって考えることができた。	・進路について考えよう	・進路学習ガイダンス ・現場実習先を考える	国語、数学、社会、体育、家庭、情報
	5月	4	(知及技) 色々な職業や職業生活について知ることができる。 (思判表力) 社会人として必要なマナーや健康管理等を理解し、改善することができる。 (学・人) 社会人として必要なマナーや健康管理等への理解を深め、自分ができているかを振り返り、生活に生かそうとしている。	(知・技) 色々な職業や職業生活について調べ、理解することができた。 (思・判・表) 社会人として必要なマナーや健康管理等を理解し、改善することができた。 (主学) 社会人として必要なマナーや健康管理等への理解を深め、自分ができているかを振り返り、生活に生かそうと自覚することができた。	・働く上で必要な力を身に付けよう①	・社会人のマナー ・挨拶、報連相、返事について ・清潔、身だしなみ、健康管理について ・人との付き合いについて	国語、数学、社会、体育、家庭、情報
	6月	10	(知及技) 実習先や仕事についての理解を深めることができる。 (思判表力) 挨拶やマナー等、これまで学んだことを実践することができる。 (学・人) 現場実習を十sh知恵、実践的な職業生活を考えようとしている。	(知・技) 実習先や仕事についての理解を深めることができた。 (思・判・表) 挨拶やマナー等、これまで学んだことを実践することができた。 (主学) 現場実習を十sh知恵、実践的な職業生活を考えることができた。	・現場実習について①	・実習の流れについて ・実習中のマナー、ルール ・実習発表	国語、数学、社会、体育、家庭、情報
	7月						
2 学期	9月	6	(知及技) 色々な職業や職業生活について知ることができる。 (思判表力) 社会人として必要なマナーや健康管理を理解し、改善することができる。 (学・人) 社会人として必要なマナーや健康管理等への理解を深め、自分ができているかを振り返り、生活に生かそうとしている。	(知・技) 色々な職業や職業生活について知ることができた。 (思・判・表) 社会人として必要なマナーや健康管理を理解し、改善することができた。 (主学) 社会人として必要なマナーや健康管理等への理解を深め、自分ができているかを振り返り、生活に生かそうと自覚することができた。	・働く上で必要な力を身に付けよう②	・社会人のマナー ・挨拶、報連相、返事について ・身だしなみについて	国語、数学、社会、情報、体育、家庭
	10月						
	11月	5	(知及技) 実習先や仕事についての理解を深め、慣れることができる。 (思判表力) 挨拶やマナー等、これまで学んだことを実践することができる。 (学・人) 現場実習を通して	(知・技) 実習先や仕事についての理解を深め、慣れることができた。 (思・判・表) 挨拶やマナー等、これまで学んだことを実践することができた。	・現場実習について②	・実習に向けて、振り返り ・面接練習 ・実習報告	国語、数学、社会、体育、家庭、情報

	12月		て、実際の職業生活を考えようとしている。	(主学) 現場実習を通して、実際の職業生活を考えることができた。			
3 学 期	1月	4	(知及技) 公共の支援機関の役割や、公共交通機関等の利用方法を知ることができた。 (思判表力) 現場実習で学んだことを踏まえ、進路実現に向け、計画を考えることができる。	(知・技) 公共の支援機関の役割や、公共の交通機関等の利用方法を知ることができた。 (思・判・表) 現場実習で学んだことを踏まえ、進路実現に向け、計画を考えることができた。 (主学) 職業生活を支える社会の仕組み等の活用について知り、生活に役立つよう考えようとしている。	・卒業後に利用する機関等について知ろう	・支援機関の役割(ハローワーク、支援センター等) ・希望実習先までの通勤方法等 ・キャリアパスポートについて	国語、数学、家庭、情報、社会
	2月		(学・人) 職業生活を支える社会の仕組み等の活用について知り、生活に役立つよう考えようとしている。	(主学) 職業生活を支える社会の仕組み等の活用について知り、生活に役立つよう考えることができた。			
	3月	3	(思判表力) 1年間の成果と課題を整理する。 (学・人) 次年度の前期現場実習で実習をしたい場所、職種を考える。	(思・判・表) 1年間の成果と課題が整理できている。 (主・学) 次年度の前期現場実習で実習をしたい場所、職種を考えることができる。	・1年間の振り返り	・成果と課題の確認。 ・次年度に向けての準備	国語、数学、家庭、情報、社会
留意点 引継等							
評価方法		・三観点の確認      ・授業(実技、実習を含む)に対する取組姿勢      ・課題の処理意欲、態度					

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
1／35	高3年 2名		ひとりだちするための 進路学習－あしたへのステップ－

年間目標		(知及技) 知識及び技能	働くことの意義を理解し、作業や実習に取り組み、働く喜びを味わう。(高1段階)				
		(思判表力) 思考力、判断力、表現力等	道具や機械の操作に慣れるとともに、材料や製品の扱い方を身に付け、安全や衛生に気をつけながら作業や実習をする。(高1段階)				
		(学・人) 学びに向かう力、人間性	職業生活に必要な健康管理や余暇の有効な過ごし方が分かる。(高1段階)				
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
1 学期	4月	4	(知及技) 現場実習について理解することができる。 (思判表力) 職業生活について学習し、卒業後の生活を具体的に考え、理解を深めることができる。 (学・人) 自分の希望する進路について、興味・関心をもって考えようとしている。	(知・技) 現場実習について理解することができた。 (思・判・表) 職業生活について学習し、卒業後の生活を具体的に考え、理解を深めることができた。 (主学) 自分の希望する進路について、興味・関心をもって考えることができた。	・自分に合った卒業後の進路を見つけよう	・進路学習ガイダンス ・昨年の振り返り ・キャリアパスポートについて ・進路先を調べる ・履歴書の書き方	国語、数学、社会、 体育、家庭、情報
	5月	4	(知及技) 社会人として必要なビジネスマナーを身に付けることができる。 (思判表力) 社会人として必要なマナーや健康管理等を理解し、改善し実践することができる。 (学・人) 社会人として必要なマナーや健康管理等を生活の中で活用しようとしている。	(知・技) 社会人として必要なビジネスマナーを身に付けることができた。 (思・判・表) 社会人として必要なマナーや健康管理等を理解し、改善し実践することができた。 (主学) 社会人として必要なマナーや健康管理等を生活の中で活用しようとして自覚することができた。	・社会人としてのマナーを身に付けよう	・社会人の生活 ・ビジネスマナーについて	国語、数学、社会、 体育、家庭、情報
	6月	9	(知及技) 実習先や仕事についての理解を深め、慣れることができる。 (思判表力) 現場実習を通して実際の職業生活を経験し、課題を見つけることができる。 (学・人) 様々な進路の在り方を知り卒業後の進路決定を主体的に行うとしている。	(知・技) 実習先や仕事についての理解を深め、慣れることができた。 (思・判・表) 現場実習を通して実際の職業生活を経験し、課題を見つけることができた。 (主学) 様々な進路の在り方を知り卒業後の進路決定を主体的に行うと自覚することができた。	・現場実習について①	・実習の流れについて ・実習中のマナー、ルール ・面接練習 ・実習発表	国語、数学、社会、 体育、家庭、情報
2 学期	7月						
	9月	6	(知及技) 卒業後の生活に必要なことを知るができる。 (思判表力) 職業生活や余暇生活等について学習し、卒業後の生活を具体的に考えることができる。 (学・人) 学んだことを生活の中で生かそうとしている。	(知・技) 卒業後の生活に必要なことを知るができた。 (思・判・表) 職業生活や余暇生活等について学習し、卒業後の生活を具体的に考えることができた。 (主学) 学んだことを生活の中で生かそう自覚することができた。	・卒業後の過ごし方について考えよう	・社会人の生活 ・卒業後の健康管理 ・経済生活 ・余暇の過ごし方、生活の場 ・相談に乗ってくれる機関 ・様々な制度について ・交通安全について	国語、数学、社会、 情報、体育、家庭
	10月						
	11月	8	(知及技) 実習先や仕事についての理解を深め、慣れることができる。 (思判表力) 挨拶やマナー等、これまで学んだことを実践することができる。 (学・人) 現場実習を通して、実際の職業生活を考えようとしている。	(知・技) 実習先や仕事についての理解を深め、慣れることができた。 (思・判・表) 挨拶やマナー等、これまで学んだことを実践することができた。 (主学) 現場実習を通して、実際の職業生活を考えることができた。	・現場実習について②	・実習に向けて、振り返り ・高3での実習先を考える ・面接練習 ・実習報告	国語、数学、社会、 体育、家庭、情報
	12月						

3 学 期	1 月	4	(知及技) 公共の支援機関の役割や、公共交通機関等の利用方法を知ることができ (思判表力) 現場実習で学んだことを踏まえ、進路実現に向け、計画を考えることができる。	(知・技) 公共の支援機関の役割や、公共の交通機関等の利用方法を知ることができた。 (思・判・表) 現場実習で学んだことを踏まえ、進路実現に向け、計画を考えることができた。	・卒業後に利用する機関等について知ろう	・支援機関の役割（ハローワーク、支援センター等） ・希望実習先までの通勤方法等	国語、数学、家庭、情報、社会
	2 月		(学・人) 職業生活を支える社会の仕組み等の活用について知り、生活に役立つよう考えようとしている。	(主学) 職業生活を支える社会の仕組み等の活用について知り、生活に役立つよう考えることができた。			
留意点 引継等							
評価方法		・三観点の確認      ・授業（実技、実習を含む）に対する取組姿勢      ・課題の処理意欲、態度					